

・宿題回答

Q2. 非常用ディーゼル発電機のバグフィルタを通り抜けて侵入する降下火砕物の具体的な量を定量的に評価し、問題ないものと確認しているか。

A. バグフィルタの火山灰試験において、バグフィルタの捕集量及びフィルタ通過量を確認している。

試験の結果、バグフィルタの差圧が設定値に到達した際の火山灰投入量に対し、バグフィルタを通過する火山灰割合は1%以下と、非常に少量であり、この程度の火山灰通過量であれば、ディーゼル機関の運転に影響を及ぼすことはないと考える。

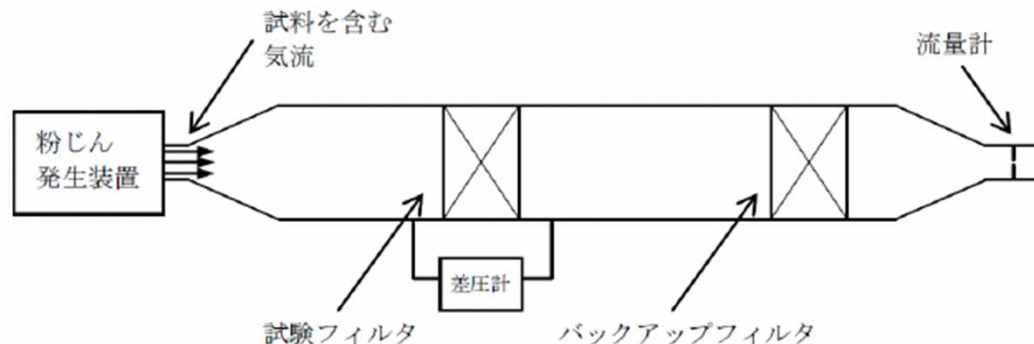


図 火山灰試験装置の構成